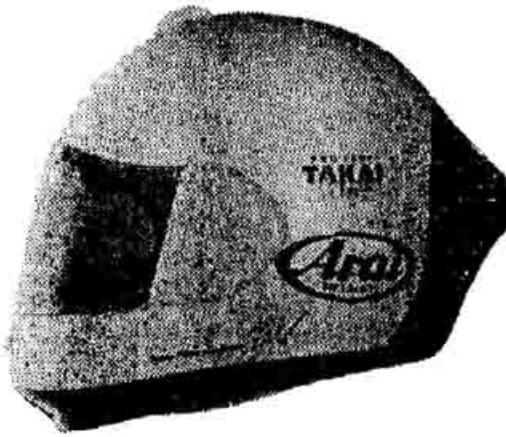


# ARAI NEWS

Actual Story From Inside.



# アライ 1986 鈴鹿8時間総括

今年も夏の祭典「鈴鹿8時間耐久レース」が無事に終わりました。猛暑の中をレースに参加したライダーと観客の皆さん本当にご苦労様でした。

ところでアライは毎年鈴鹿耐久ではインダクションボットのプロトタイプやブローキャッターシールド等、数々のベンチレーションシステムをテストして来ました。なぜかといえば、暑いからですと言ってしまえば簡単ですが、走っているライダー達は想像を絶するような暑さで、一度走り終わつた後などヘルメットの中に汗がたまつてしまい、さわるのもいやになる程、これを見たらとても熱つて見過せません。

今年はエアロアウトレットとともに名付けたいいんでしょうが、後頭部の一喜一悲といふべきで、後頭部の空気の流れを整えようという、ヘルメット本体に取り付けるエアロキットみたいなものをテストしてみました。もちろん安全には頑固なアライが作ったのですから、一番大切な軸体には何の影響も及ばないで、後頭部のネットバットから空気を導き出すもので、転倒した際にもすぐつぶれるような非常に柔らかい材質で作られています。カッコはともかくこれを要所したヘルメットの社内でのテストもまずまずの結果だったので、「これで選手の負担を少しでも軽く出来るのではないか」と思い鉛塵に桃みました。

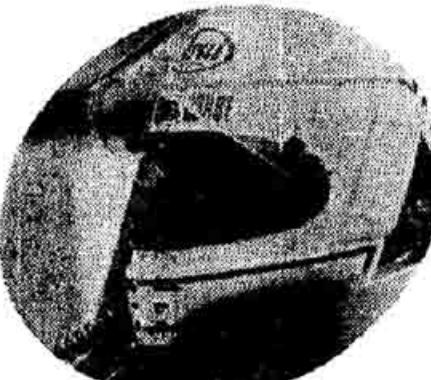
決勝レースの間も、カワサキに乗る岡正弘選手にテストして貰いましたが、ヘルメットにたまる汗の量がかなり減り、走つた後でも内装はサラッとしていたそうです。但し壁流効果については今一步で、高速で構に向いた時にかなりあおられてしまうということで、残念ながら販してお客様に使って頂くにはまだまだ遠いなあというのが正直なところでした。ただ将来の方向として、こういったものも試しているんだということを覚えておいて下さい。

それと同時に今年もブローキャッターシールドとインダクションボットが大好評で、もうこれがなくては走れないといふ選手ばかりです。今年はYAMAHA等おなじみのスーパーベンチレーション内装と組み合せたため、走行中の風速が飛躍的に上昇するといふ結果になりました。

## 日本最初の本格的F-1ドライバー誕生

ヤンタゼ。思わず叫びたくなるようなビックニュースです。来シーズンより中嶋悟選手が、F-1でも超名門のチームロータスの一員として、F-1シリーズにフルエントリーすることになりました。もちろん日本人としては初めてのことです。

アライは中嶋選手を1978年からずっと応援してきました。ついにここまで登つて来たかと感無量の気持ちです。みなさんはこれを機会にぜひ応援してあげて下さい。お願いですよ。



合わせたため、効果は昨年よりも格段によると喜ばれています。他メーカーのヘルメットをかぶっている世界的有名ライダーが、インダクションボットをお願

いだから付けてくれといつてきただので、取り付けて上げたところ、すごく良くなつたと大変喜んだそうです。雑誌をよく見ると思わぬところにインダクションボットが付いているのに気が付くかも知れませんよ。

今年は8時間が終わってもグランプリや、富士のインター、TBC等ビックレースがめじろおし、アライにとってレースはテストグラウンド、レースファンのみなさんがワクワクしてくるのと同じようにアライも開志が燃え上がります。